

藤水小学校だより

— ひと・もの・ときを大切に —

第9号

令和2年8月31日
津市立藤水小学校
Tel 059-228-3674

Slow but steady !

～あわてずに、しかし、着実に～



英語のことわざに、Slow but (and) steady wins the race. という言葉があります。これは、日本語では「急がば回れ」とも訳されます。

「急がば回れ」は「もののふの 矢橋の船は 速けれど 急がば回れ 瀬田の長橋」という歌から出た言葉です。東海道の道中で琵琶湖を舟で渡るところがありますが、このルートは風が強く困難なため、遠回りでも陸路を行った方がいいという教訓です。英語の“Slow but (and) steady wins the race.”はイソップ寓話の「うさぎとかめ」から出た言葉です。

さて、2学期が始まって早くも2週間が経ちましたが、本来ならばまだ夏休み期間中です。今年の2学期は、想像以上に長く感じるかもしれません。しかしそんな中だからこそ、「あわてずに、一つ一つを着実に進めていくこと」が今一番大切なことではないかと考えます。焦らず、ゆっくり行きましょう。疲れたときはゆっくり休みましょう。焦る必要はありません。コロナの影響でまだまだどうなるかはわかりませんが、今のところ授業時数も十分確保できる予定です。

1学期は新しい生活様式に慣れる期間でしたが、この2学期はこの状況で何ができるか、どうすればできるかを模索し、学校における教育活動の効果を最大限に引き出せるよう工夫が必要となります。子どもたちの学習に向かうエネルギーは仲間とともに活動し、互いに認め認められながら学び合う中から生まれます。特に小学校においては、学校行事等を通してのこれらの体験が、子どもたちの学びにとっても大きく関係しています。ソーシャルディスタンスからは一番遠いところにあるのかもしれませんが、長い2学期には、エネルギーを補充できる取り組みも行っていきたいと思っています。運動会、修学旅行や社会見学などの校外学習、これらを実施できるようにするための策を練りながら計画を進めているところです。

保護者のみなさんには、学校での子どもたちの様子をまだご覧いただけておらず、10月下旬に実施日を変更した運動会がその機会になることと思います。本校では運動会のねらいや教育効果を考え、全校で実施することとし、平日に昼食を挟まない半日日程、観戦保護者数の制限、全席立ち見等々、詳細は後日お知らせいたしますが、対策を立てながら実施して参ります。学年が上がって教室で頑張っている子どもたちの様子も、学年だよりやホームページ等でしかお伝えできないことを心苦しく感じています。例年よりも保護者のみなさんへのサービスが悪くなってしまっても知れませんが、子どもたちの安全と学びの効果を最優先して取り組んでいきたいと考えていますので、ご了承ください。

また、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにするためには、校内にコロナウイルスを持ち込まないことが一番大事なことです。これまでの子どもの感染例を見ても、子ども自身が街中で感染してきたという例は聞きません。いずれも子どもを取り巻く大人からの感染が始まりです。保護者の皆様、そして私たち教職員が、家族ぐるみで感染防止に注意を払うことが子どもたちの学習機会を保障することにつながります。結果として、コロナに感染してしまうことは仕方のないことではありますが、できる限りの努力は行いたいと思いますので、どうかご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～藤水小ホームページから～



藤水小のホームページを
ぜひご覧ください！

2学期 始業式 8月17日(月)

1学期終業式に続き、校内放送での始業式となりました。

伝えたい話はいろいろとあるのに、直接顔を見て子どもたちに話せないもどかしさは今回も消えません。とはいえ、贅沢は言っておられません。元気にみんなが学校に登校できることに感謝をしながら、2学期も頑張っていきたいと思います。



地区別集会 8月25日(火)

今回の地区別集会では、通学路、集合場所、危険箇所を再度確認するとともに、暑さ対策の中でのマスクの着用について、各担当の教員から話をしました。その後、地区別に教員引率のもと、集団下校を行いました。今までの中で、一番暑さを感じました。引率した職員もみな顔を真っ赤にして戻ってきました。



音楽の授業 8月28日(金)

音楽の授業も、文科省の「新しい生活様式」を踏まえながら、少しずつ歌唱指導や器楽演奏を始めています。2年生の鍵盤ハーモニカも、全員が前を向いて距離を
♪ ♪ ♪ ♪
取って練習しました。

